

《基本理念》

信頼関係を大切にし、
 地域に根ざした
 良質な医療を提供します。



巻頭言



院長
貞松 篤

診療報酬、介護報酬の同時改定とともに平成30年度が幕開けしました。常日頃申していますように、当院の将来を見据えた基本的診療機能は、セーフティ・ネット系である重症心身障害児・者医療、結核医療、一般医療である配置基準10：1の急性期医療と13：1の回復期医療です。これは平成27年3月に包括ケア病棟の本格運用を開始した時点でほぼ完成したといえます。以後、医療状況に応じ微調整を行って参りました。

今回の改定は、2025年少子高齢化問題を受け、在宅医療を重視した内容となっており、当院に求められる役割は何か考えたとき、在宅患者が急性増悪したときにスムーズに受け入れ、急性期医療・リハビリをしっかりと行い、在宅に復帰していただく事が大きな使命と考えます。

まず、今年度は地域医療連携室の強化に取り組んでいきたいと思っております。必要な人材の投入はもちろん、特に連携サービスの質の向上を図ります。より正確で詳細な患者情報を院内各部署、院外と共有する事が重要で、よりきめ細かな連携サービスを提供してまいります。

年度末にあげた4つの病院目標 ①良質な医療の提供、②健全な経営基盤の確立、③臨床研究・研修・QC活動への取り組み、④業務改善と連携室強化を達成し地域に必要とされる病院を目指します。

目次		*題字「ひがしさが」 平野 長照 名誉院長 書
■ 巻頭言	1	■ 中原特別支援学校分校舎平成29年度卒業証書授与式に参加して
■ 転入者挨拶	2	■ 感謝状について
■ 退職者挨拶	2	■ 人事異動
■ 災害医療研修	3	■ 地域医療連携室のご案内
■ 敷地内全面禁煙のお知らせ	3	■ 外来診療担当医表
■ 東佐賀病院におけるQC活動について	4	■ 病院アクセスマップ
		■ 地域医療研修センターのご案内

転入者挨拶



看護部長 林田 千秋

このたび、看護部長として配置換えでまいりました林田千秋と申します。

出身は熊本の天草で、佐賀県での勤務は10年ぶりとなります。当院を初めて訪れた日は満開の桜に迎えられ、そして今はさわやかな新緑の香りが漂い、秋には美しい銀杏並木をのぞめるときき、今からとても楽しみにしております。院内においても、季節の行事装飾や花々が飾られ、入院患者さまだけでなく、病院を訪れる全ての方への心遣いが行き届いているように思いました。

東佐賀病院に対しては、経営が安定している病院という印象をもっておりましたが、約一ヶ月勤務して、救急受け入れや患者確保に病院一丸となって頑

張っている、と実感しております。職員全員が同じ方向を目指して力強く進んでいこうとしている、そのように感じております。そのなかで、看護部門が果たす役割、課題に積極的に取り組んで参りたいと思います。

ところで、前任地では看護師確保に奔走する日々でした。看護学校訪問先で学生と話したときに、臨地実習で目標となる看護師さんに出会える幸せを語ってくれたことがあります。当院は看護学生の実習を10校も受け入れ、後進の育成や地域医療(看護)へ貢献しております。充実した実習が展開されていることに感謝しつつ、看護職員がいきいきと働き続けられる職場づくりにも努力していきたいと思ひます。皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。

退職者挨拶



定年を迎えて

看護部長 中村 弘子

桜満開の東佐賀病院で定年を迎えることになりました。

7施設、さまざまな機能と役割を担っている病院で仕事をさせていただきました。そこでの多くの方々との出会いや出来事が、自分の糧にもなり道しるべにもなってきました。

半年前は、組織に属さない心もとなさを感じましたが、最後は、定年まで仕事を続けてこられたことの安堵感で終わることができました。

職場の皆様はもちろん、臨床の現場で出会った皆様それぞれに感謝しつつ、特に東佐賀病院のさらなる発展を祈念しております。

災 害 医 療 研 修

平成30年2月19日 14:00～15:00

東佐賀病院は鳥栖三養基地区にある唯一の国立病院として災害時に患者受け入れを行うべく期待されています。年に1回、災害医療従事者研修を行っており今回は九州地区のNHO災害ブロック拠点病院である長崎医療センターより救命救急センター長の^{なみちちかあき}中道親昭先生に講師をお願いし「災害発生時の受入体制並びに実際の運用について」と題して災害医療の経験に基づいてお話を頂きました。

- ①災害医療には受給のアンバランスが発生する。人がいない、物が無い。これを補うためにはまず指揮命令系統と情報管理が大切であること。
- ②広域災害の発生時における実際の体制作りや東佐賀病院に求められる医療機能はなにか明確にし準備をしておくことが大切であること。
- ③災害時の初動体制とその実際。
- ④自院が被災した場合と受入れ可能になった際の対応切替えなど。



非常に混乱した現場での実際に求められる動き、体制について深く学ぶことが出来ました。

先生のお話を参考に当院でも災害受け入れ体制、アクションカードの記載内容、表示場所など鋭意改善、見直しを行っていきたくと考えています。中道先生ありがとうございました。

敷地内全面禁煙実施のお知らせ

管理課長 林田 直久

病院は、受動喫煙が起きないように対策を徹底することを求められる施設であり、公的病院については、敷地内全面禁煙の実施が社会の趨勢となっています。しかし総務省の調査により、九州管内の公的病院の中でも、国立病院機構の全面禁煙実施率は46.2%と低い状況にあることが分かりました。そこで当院でも、患者様をはじめ、職員の健康を守り、健康増進を図るため、平成30年4月1日より、病院敷地内を全面禁煙とすることになりました。敷地内とは、病院の建物内は当然ですが、駐車場（車内も）を含め病院敷地全体を示します。

また、この取組は病院職員だけではなく、患者様、ご家族、お見舞いの方、出入業者の方等すべての方が対象となります。長年愛煙家でこられた方には、大変かもしれませんが、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



●●東佐賀病院におけるQC活動について●●

当院では、平成28年度より医療の質改善を目的とし本格的にQC活動に取り組んでおり平成29年度には九州グループ最優秀賞を受賞することができたことで、職員のQC活動に対するモチベーションは高い状態を保たれています。そのような中、平成29年度実施中のQC活動について、平成30年2月21日（水）15時から各自持ち時間6分で全12題のQC取り組み発表が行わ

れました。厳正な審査の結果4題を平成30年度の国立病院総合医学会での発表に向けて選出しました。

発表内容は、どの演題も創意工夫を凝らしており、医療の質改善に大きくつながる活動ばかりでした。また3月8日にはQC活動の研修会の伝達講習を開催しました。今後もこのように年1回、毎年2月にQC活動の発表会を実施していきます。



1. 目指せ！きちんとラクラク管理
～費薬日計表～



2. 結核の複雑な手続きもスイスイ簡単に
～フローチャートで確実に～



3. 病棟の退院支援ってどうしたらいいの？
～病棟退院フローチャートを作成して～



4. 看護師管理薬の一日配薬への取り組み



5. “清く正しく美しく” PPEの適正使用
～エプロン着用・交換を促す～



6. 重症心身障害児（者）病棟における軟膏処置の改善
～処置伝票の活用、軟膏の整理に取り組んで～

7. 看護倫理への認識のズレを減らしたい！
～患者中心の看護を目指して～

8. スケジュール管理で業務も気持ちもスッキリ！！
～受け持ち業務100%遂行～

9. オーダーメイド車椅子作成の流れを改善！

10. 待ち時間を減らし隊
～外来患者の待ち時間短縮をめざして～

11. 血培倍×2 廃棄BYE-BYEよかったばい！
～積極的な血液培養の実施への取り組み～

12. 共同利用を増やそう（骨密度測定編）



中原特別支援学校分校舎 平成29年度卒業証書授与式に参加して

療育指導室 工藤麻由子

3月12日に療育訓練棟にて中原特別支援学校分校舎卒業証書授与式が行われました。当院では重症心身障害病棟に入院されている患者さんのうち、年齢の方々（年齢超過生、過年度卒業生を含む）は当院に隣接している中原特別支援学校の教育を受けており、小学部から高等部まで計29名の患者さんが在籍しています。

平成29年度は、11病棟から3名、12病棟から2名、13病棟から3名の計8名の患者さんが高等部を卒業されました。卒業生のみなさんは正装し、やや緊張した様子でご家族と共に式に臨まれていました。校長先生から一人ひとり名前を呼ばれて卒業証書を受け取る時の患者さんやご家族の様子は様々で、ここに至るまでの経過や学校生活の思い出は患者さんそれぞれに異なっており、手にした卒業証書の物理的重さはみな同じでもその重みはきっと一人ひとり違うのだろうと感じました。

学校生活を終わるとこれまでほぼ毎日のように行われていた先生方の訪問授業が無くなるため、「刺激が減り寂しくなる」という卒業生のご家族等からの声を聞くことがあります。学校の先生のように患者さんと1対1で濃厚に関わる時間をなかなか多くは持てませんが、学校教育で培われた能力、反応が卒業後も維持でき、出来ればそれらを更に伸ばしていけるよう院内関係スタッフで連携しながら卒業後の患者さんの生活をこれからも支援していきたいと思えます。



感謝状について



当院では以前から清掃業者の明治ビルサービスの方3名のご厚意により定期的にお花を寄贈いただいております。いただいたお花は外来待合、中央廊下等に飾り患者さんや来院される方々に大変喜ばれています。

この度、3名の方への感謝の意を込めて、平成30年3月28日に感謝状を贈呈させていただきました。


 人事異動


 personnel changes

◆転入者

日付	氏名	職名	職場名	転入元
H30.4.1	末松直幸	薬剤部長	薬剤部	星塚敬愛園
H30.4.1	米田奈美	調剤主任	薬剤部	嬉野医療センター
H30.4.1	坂井綾子	副臨床検査技師長	検査科	指宿医療センター
H30.4.1	石橋徳子	臨床検査技師	検査科	小倉医療センター
H30.4.1	中野沙織	理学療法士	リハビリ	九州がんセンター
H30.4.1	中川恭兵	作業療法士	リハビリ	奄美和光園
H30.4.1	林田千秋	看護部長	看護部	宮崎病院
H30.4.1	福田隆恵	看護師長	2病棟	嬉野医療センター
H30.4.1	中島由美子	看護師長	13病棟	嬉野医療センター
H30.4.1	川良ゆかり	看護師	13病棟	国立成育医療研究センター
H30.4.1	林田直久	管理課長	管理課	嬉野医療センター
H30.4.1	野林雄市	業務班長	企画課	福岡東医療センター
H30.4.1	綾部純一	経営企画係長	経営企画室	肥前精神医療センター
H30.4.1	平石愉香	主任保育士	療育指導室	肥前精神医療センター

◆新採用者

日付	氏名	職名	職場名
H30.4.1	田中雅之	外科医長	医局
H30.4.1	水田和孝	整形外科医師	医局
H30.4.1	永石あすか	看護師	1病棟
H30.4.1	宮崎真子	看護師	1病棟
H30.4.1	岩松香那	看護師	3病棟
H30.4.1	藤井孝憲	看護師	3病棟
H30.4.1	内田和代	看護師	11病棟
H30.4.1	岡元楓	看護師	11病棟
H30.4.1	佐々木祐治	看護師	12病棟
H30.4.1	小林さくら	看護師	12病棟
H30.4.1	野邊桜子	経理係	企画課
H30.4.1	石丸阿佑美	児童指導員	療育指導室
H30.4.1	植田文明	看護助手(非常勤)	11病棟
H30.4.1	野下さやか	看護助手(非常勤)	外来
H30.4.1	根北隼人	看護助手(非常勤)	経営企画室



◆退職者

日付	氏名	職名	職場名
H30.3.31	牛見 陽	放射線科医長	医局
H30.3.31	脇山 幸大	外科医師	医局
H30.3.31	北島 雄人	整形外科医師	医局
H30.3.31	沖 眞一郎	小児科医師	医局
H30.3.31	中村 弘子	看護部長	看護部
H30.3.31	三井 淑子	看護師長	看護部
H30.3.31	高嶋 和子	看護師長	13 病棟
H30.3.31	青柳 沙紀	看護師	看護部
H30.3.31	飛松 祐歌	看護師	3 病棟
H30.3.31	牟田 智子	看護師	11 病棟
H30.3.31	井上 桂子	看護師	12 病棟
H30.3.31	三浦 洋子	看護師	13 病棟
H30.3.31	青柳 秀信	調理師	栄養管理室
H30.3.31	平野 幸一	ボイラー技士	管理課
H30.3.31	久我 朋子	保育士	療育指導室
H30.3.31	高山 美智代	看護師	1 病棟
H30.3.31	松永 るみ子	看護師	12 病棟
H30.3.31	平田 ひとみ	療養介助員	2 病棟
H30.3.31	安高 史子	看護助手(非常勤)	11 病棟
H30.4.14	前原 裕美	看護師	3 病棟

◆転出者

日付	氏名	職名	職場名	転出先
H30.3.31	橋本 雅司	薬剤部長	薬剤部	長崎医療センター
H30.3.31	本郷 剛	副臨床検査技師長	検査科	菊池恵風園
H30.3.31	浜田 寛子	臨床検査技師	検査科	九州医療センター
H30.3.31	錦戸 正樹	理学療法士	リハビリ	長崎川棚医療センター
H30.3.31	西村 仁志	作業療法士	リハビリ	熊本再春荘病院
H30.3.31	寺崎 仁美	看護師	13 病棟	肥前精神医療センター
H30.3.31	樋口 和宏	管理課長	管理課	熊本医療センター
H30.3.31	海崎 健也	業務班長	企画課	鹿児島医療センター
H30.3.31	牧園 紘子	経理係長	企画課	嬉野医療センター
H30.3.31	横山 鉄平	経営企画係長	経営企画室	福岡東医療センター

地域医療連携室のご案内

《ご利用方法について》

1. ご紹介いただく場合について

「診療情報提供書（当院様式以外のものでも結構です）」に必要事項をご記入いただき、ファックスにてご連絡下さい。診療情報提供書をすぐに送信いただけない場合は、直接、新患担当医師又は各診療担当医まで電話にてご連絡下さい。その場合の診療情報提供書は、できるだけ患者様が受診される日時までに、地域医療連携室までFAXいただきますようお願い致します。

2. 緊急時のご紹介について

緊急を要するご紹介は、直接各診療科医師へご連絡下さい。

患者様の症状などを医師同士でご確認していただくことにより、受入体制、各種検査室の手配など迅速に対応できます。また、救急搬送によるご依頼の場合には、救急当番医師が対応致します。

3. 患者様へのご説明について

受診当日に「予約案内書」「診療情報提供書」「健康保険証」をご持参のうえ、外来受付窓口へご提出いただきますよう説明をお願い致します。

4. ご報告について

診療結果につきましては、地域医療連携室または担当医から、ファックス若しくは郵便にて速やかにご報告申し上げます。なお、報告がないようでしたら地域医療連携室までご一報下さい。

5. 入院のご依頼について

入院をご希望の場合でも、いったん当院の医師の診察後に決定させていただきますので、ご理解の程お願い申し上げます。なお、緊急の場合は直接各診療科へお電話いただき、担当医にご相談いただきますようお願い致します。

6. その他

お問い合わせ、ご不明な点やご意見ご要望等がございましたら、いつでもご遠慮なく「地域医療連携室」へお知らせ下さいますように、お願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構東佐賀病院地域医療連携室

ご連絡は下記のファックス又は電話をご利用下さい。

代 表：TEL 0942 (94) 2048 内線 309

直 通：TEL/FAX 0942 (94) 3748(FAXは24時間受付)

E-mail：renkei-56@hosp.go.jp

<平日/午前8時30分～午後5時15分>

※平日午後5時以降及び土・日・祝祭日受付分は、翌日など出来るだけ早急に返事を送らせていただきます。

外来診療担当医表



(受付時間) 月曜日～金曜日(祝日を除く)

新患・再来/8:30～11:30 ※急患はこの限りではありません

小児科受診の新患・再来/8:30～11:30、14:00～16:30

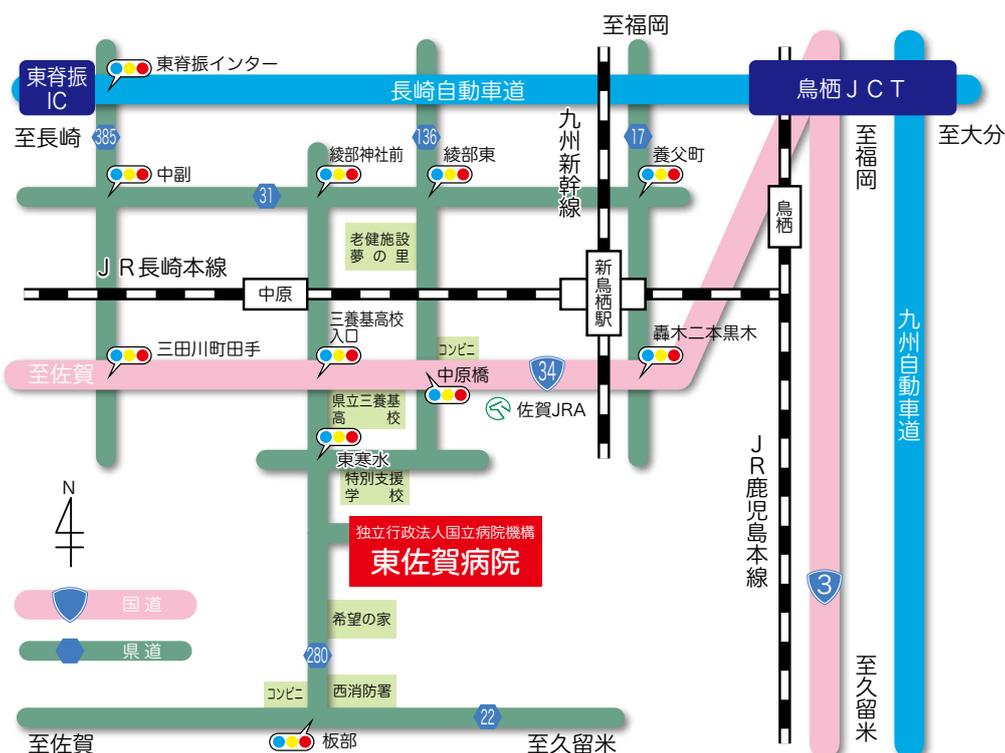
FAX 0942-94-3137

ホームページ <http://www.higashisaga-hosp.jp>

診療科目		月	火	水	木	金	
内科	新患	貞松 篤(循環器) 小林 弘美(呼吸器)	千布 節(呼吸器) 高木 佑介(糖尿病)	大井 順二(消化器) 田中 直寛(循環器)	犬山 正仁(呼吸器) 吉村 昌也(消化器)	岡田裕美子(内科) 那須 俊甫(糖尿病)	
	再来	呼吸器	千布 節	小林 弘美	小林 弘美 犬山 正仁		千布 節
		消化器	吉村 昌也	大井 順二		大井 順二	吉村 昌也
		循環器		貞松 篤	貞松 篤	田中 直寛	田中 直寛
		内科					
	糖尿病・内分泌	高木 佑介	那須 俊甫	那須 俊甫	高木 佑介	重本 里美(9:30～)	
	専門	甲状腺					
肝臓専門外来		岩根 / 岡田					
外科	消化器	北島 吉彦 田中 雅之	北島 吉彦	田中 雅之	北島 吉彦	田中 雅之	
	呼吸器		辻 博治	辻 博治	辻 博治	辻 博治	
	乳腺外科 (予約制)					北島 吉彦 田中 雅之 (午後1:30～予約制)	
小児科	一般	午前	山本 修一	荒牧 修一	山本 修一	中西 未来	横田 吾郎
		午後	当番制	荒牧 修一	佐賀大学	中西 未来	今吉美代子
	専門 アレルギー	午前				中西 未来	
		午後	山本 / 田中 (予約制)				
整形外科	一般	本岡 勉 水田 和孝	本岡 勉	本岡 勉 水田 和孝	本岡 勉 水田 和孝	水田 和孝	
	専門	骨粗しょう症					
		関節	上通由紀子	上通由紀子		上通由紀子	上通由紀子
		形成		当面の間休診いたします。			
放射線科	江頭 玲子 (9:00～11:00)						
消化器内視鏡	大井 順二	吉村 昌也	吉村 昌也	田中 雅之	大井 順二		
呼吸器内視鏡			辻 博治				
心エコー							
眼科					午後	午後	

- 栄養相談は、月曜日～金曜日まで毎日行っています。
- 金曜日の乳腺外来は予約制ですので、事前に外科外来にご予約下さい。
- 小児アレルギー外来は、小児の喘息、アレルギー性鼻炎やアトピーなどの診察、相談を行っています。
小児アレルギー外来、予防接種は予約制ですので事前に小児科外来へご予約下さい。
- 眼科外来は、当院にて治療中の患者様に限ります。

病院アクセスマップ



- JR長崎本線普通列車「中原駅」下車。南へ徒歩15分(1.4km)
 - 鳥栖駅～中原駅間 約9分
 - 佐賀駅～中原駅間 約17分
- 西鉄バス(西鉄久留米)～(鳥栖駅)間(あやべ經由41番)の「東佐賀病院前」にて下車。
 - 西鉄久留米より 約30分
 - JR久留米より 約20分
 - JR鳥栖より 約30分
- 九州自動車道及び長崎自動車道
 - 鳥栖インターより(国道34号線經由) 約30分
 - 東脊振インターより(県道31号線經由) 約20分

地域医療研修センターのご案内

本センターは医療従事者の方であれば利用者の職種は問いません。病院の職員をはじめ地域住民の皆様、及び医療機関の皆様、講演会・研修会・勉強会等医療・健康に関するコミュニケーションの場としてご利用下さい。

●お申し込み・お問い合わせ先●

東佐賀病院
管理課庶務係

☎0942 (94) 2048
(内線 333 又は 219)

編 集 後 記

新年度となり新たなメンバーを迎えることとなりました。広報誌委員会では、東佐賀病院のタイムリーな情報を発信していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

(広報誌委員会)